

Allied Health Sciences

北里大学 医療衛生学部

2008年5月20日 発行

— 第 5 号 —



〒228-8555 神奈川県相模原市北里1丁目15番1号

TEL 042(778)8111(代) FAX 042(778)9628

http://www.ahs.kitasato-u.ac.jp

発行責任者：学部長 齋藤 豊和

医療衛生学部

『こまぐさ奨学金』 発足



こまぐさ奨学金

「こまぐさ奨学金」は、平成18年3月に医療衛生学部理学療法専攻を卒業した平塚麻奈さん（故人）の父君・平塚千尋氏から贈られた多額の寄付金によって発足した奨学金制度である。平塚麻奈さんは、平成19年7月、中央アルプスの天竜川・大田切本谷で遭難し、34歳の若さで亡くなった。在世中、麻奈さんは学業と生活を両立させながら臨床実習に打ち込んでいた。医療衛生学部の学生のことを、折に触れて父君に語っておられたという。家計の急変などによって修学が困難になった医療衛生学部の学生を経済的に支援できれば故人の遺志が報われる、との千尋氏からのお申し出により、平成20年4月に創設されたもの。対象は医療衛生学部3・4年生で、毎年1人あたり60万円を4人に給付。以後20年にわたって運営される。発足にあたり、寄付者である平塚千尋氏に特別に寄稿していただいた。なお、「こまぐさ」は高山植物の一種で、山歩きが好きだった麻奈さんにちなんでつけられた。

志を曲げることなく、

賑やかな笑いを失うことなく

平塚 千尋

明るい賑やかな笑い声が消えました。「もうお酒飲んじやダメ」「もっと散歩しなさい」親を思う口うるさい小言もなくなりました。美味しいケーキ屋、山での感動、理学療法の仕事や患者さんの話を聞くこともなくなりました。人の死はさびしいものです。

麻奈が北里を目指したのは28歳の時です。子供の頃から夢だったケーキ作りの仕事を続け、母親の闘病生活を見守る中で医療に関心をもち、リハビリについて病院を尋ね歩いた後のことでした。

北里時代は専門の授業や実習のほかに、法学ゼミの模擬裁判に参加したり、障害者登山の手伝いを

したりと、傍から見ても充実した学生生活を送っていました。



麻奈さん（右）と千尋氏。
2001年トロムソ（ノルウェー）で撮影

それでも3、4年生の時には病院実習、卒業研究、国家試験で忙しくアルバイトができず、パティシエ時代の貯えも底をついて奨学金を得ていました。

社会は今大きな変革期にあり、予期せぬ事故や、経済変動・雇用変化による家計急変も少なくないと聞きます。志半ばで学業を中止せざるを得ない、そのようなことの無いよう、ささやかですが奨学金を設けました。

希望と夢の実現に向かっていく学生が、その志を曲げることなく、明るい賑やかな笑い声を失うことなく、そして親や患者に向きあう自信を持って助言できるよう、人生を切り拓いていく上で少しでも役立てていただければと期待しています。

漂揺漂流

◆月探査機「かぐや」がハイビジョンカメラでとらえた月の地平から姿をあらわす「満月」ならぬ「満地球」の像が息を呑むほど美しい。この美しい世界が急速な環境破壊により、移り変わる四季の美しさが損なわれつつある。◆先日、小林研一郎指揮、日フィルによるベートーベンの田園を聴いた。美しい田舎の風景、嵐、鳥の鳴き声などが頭の中を駆け巡った。ドボルザークによるチェロ協奏曲、新世界から、マーラーの曲にある鳥の鳴き声、それらの世界からボヘミアの田園風景が眼前に現出してくる。ミレーの落穂拾いにある田園風景、「満地球」からは、ホルスト作の「木星」（平原緩香が歌い大ヒットした）が思い出される。◆日本の美しい四季の風景はどうなるだろうか。日本には約15日間ずつの24の季節があるとされている。小寒、大寒、立春、雨水、啓蟄、春分、清明、穀雨、立夏、小満、芒種、夏至、小暑、大暑、立秋、処暑、白露、秋分、寒露、霜降、立冬、小雪、大雪、冬至である。◆

四季の移り変わりを見事に表現している言葉である。美しいこれらの言葉も消えていくのであろうか。

HS

健康科学科

特集

■卒業と同時に取得できる国家資格——

- ・第一種衛生管理者
働く人々の健康と安全を支援する。健康診断や健康障害の防止等を行い、健康的で安全な職場を率先して作る「指導者」。
- ・第二種作業環境測定士
働く環境に有害物質がないかどうかを調べ、環境改善するためのデータを提供することにより、働く人々の健康を守る。

健康科学科

健康科学科は、病気の予防や健康の保持・増進に必要な科学的知識や技術を医療領域において学ぶ場です。

学祖北里柴三郎博士が実践した「予防医学の精神」を健康科学科は強く受け継ぐ学科です。健康に関わる「自然環境・食・労働環境・心理ストレス」は当学科の教育の基本で、健康の保持・増進、健康障害などの予防という観点から「健康」を考えます。

健康の保持・増進、健康障害の予防へのアプローチ

■専門への基礎固め

生物学、化学、物理学、数学、英語、心理学、倫理学、経済学、情報演習、芸術など、専門科目を学習する上での基礎知識の学習を



水質検査のための試料採取



微生物の検査

するとともに、幅広い知識を習得します。

■人の構造や機能について学ぶ

環境中の有害な要因（微生物、化学物質など）による、人への健康影響を理解するために、解剖学、生理学、組織学、病理学などの科目を学び、人の構造や機能について理解を深めます。

■環境中の有害要因を分析・評価する方法を学ぶ

人の構造や機能を理解した上で、環境中の有害要因を分析・評価するために分析化学や機器分析化学、微生物学などの科目を学びます。

■環境中の有害要因が人にどのような影響を及ぼすか、またその対処方法を学ぶ

さまざまな環境要因を正しく分析・評価する知識・技術を応用して、環境衛生学、食品衛生学、労働衛生学、リスク管理学などの科目を学び、有害な環境要因が生体

真の“健康”とは

「病気がないことが健康」ではないのです。WHOは「健康とは、肉体的、精神的、社会的に良好な状態をいい、単に病気あるいは欠陥のないことではない」と定義しています。すなわち、健康とは、心身全体を指し、疾病の有無に関わらず自分が社会生活を豊かに営むために体力、持久力、回復力、意欲、集中力が充実した状態をいうのです。

に及ぼす影響について理解するとともに、環境工学、作業環境管理学、労働衛生工学でその対処方法についても学びます。

■人の心理状態が健康に及ぼす影響について学ぶ

心の健康やストレスなどについて理解し、ストレスへの対処方法や予防法を学ぶために、精神衛生学、臨床心理学、健康心理学、発達心理学などを学びます。

■環境が健康に及ぼす影響について深く探求

卒業研究は、3年間で身につけた知識を発展させるため、健康科学科4研究室（公衆衛生学、環境衛生学、衛生管理学、精神衛生学）または関連する学内外の研究室、

卒業研究（ヒ素の測定）



学外研究機関において卒業研究を行い、健康に関連した広範囲の研究を行っています。

更に、詳しい健康科学科については、ホームページをご覧ください。
(<http://www.ahs.kitasato-u.ac.jp/~hs/>)

.....

他に健康科学科で取得できる資格
・食品衛生監視員（任用資格）
・食品衛生管理者（任用資格）
厚生労働省により認定される。
食品衛生監視員は、食品製造・加工業者に対し、営業施設の臨検、食品・添加物・器具・帳簿類等の検査、監視指導を行う。
食品衛生管理者は、食品製造・加工業などの施設に置くことが義務付けられ、施設で食品の衛生管理を行う。
産業力ワンセラー（受験資格）
働く人が人間らしく生きていけるようにカウンセリングを行う。

■臨床検査技師

臨床検査技師は、チーム医療に不可欠な検査データを測定する専門職です。業務は、主に患者さんの検体、すなわち血液や尿などを対象とする「検体検査」と、患者さん自身を対象に行う心電図検査などの「生理検査」があります。主に病院で活躍していますが、製薬、医療、食品関連企業にも進出しています。

医療検査学科

M L

特集

医療検査学科

医療検査学科は、2006年に旧衛生技術学科臨床検査学専攻から改組し、56年の歴史を誇る、科学の老舗としての自負を持った学科です。既に、多くの卒業生が、病院、企業、大学で活躍し、高い評価を得ています。

本稿では、本学科で展開されている病院実習と改組に伴い新たにスタートしている「新細胞検査士コース」について紹介させていただきます。

臨床実習

臨床実習は北里大学病院と北里大学東病院で実施されます。いずれの病院も相模原キャンパス内という最高の立地条件で展開されています。



臨床実習



細胞診

臨床実習は3年生までに学んだ臨床検査に関するすべての内容のまとめであるとともに、臨床現場での実践教育として、また、病院における患者さんや他の医療者と接することで社会への扉となる重要な科目として位置付けられます。実習は3年生の11月下旬から4年生の11月までの約1年間で組み込まれます。この間で臨床実習を行っていない期間は各研究室で卒業研究を行うことになります。

実習の期間は10週間で終了するグループと約16週間かけて実習を行うグループに分かれ、各自の希望や進路などによって選択します。実習中は両病院の臨床検査部・病院病理部の検査室に一定期間配属され、さらに全ての検査室をローテーションし、各検査室では臨床検査技師等から直接指導をしていただくこととなります。

このように医療検査学科の臨床

実習は両病院検査室の協力の下に大変恵まれた、他大学では類を見ない実習となっております。

新細胞検査士コース

医療検査学科では、臨床検査技師教育に加え、細胞検査士養成のための特別カリキュラム「細胞検査士コース」を開講しています。細胞検査士とは、がん等の疾患を顕微鏡を用いて細胞レベルで検査する臨床検査技師であり、がん診断に欠かせない専門職です。

医療検査学科の細胞検査士コースは、平成6年に日本臨床細胞学会によって認定された全国でも有数の養成施設であり、学部教育の一環として徹底した専門教育をおこなっています。

今後の課題

医療検査学科では、2年生から充実したそれぞれの専門家による教育を展開し、さらに中身の濃い実習により理解度の向上を図り、その成果は病院・企業でも高く評価されています。今後とも、病院、あるいは企業においてリーダーシップの取れる学生を社会に輩出してゆきたく努力してまいります。

こなうため、コース修了者は在学時（4年生）に細胞検査士資格認定試験を受験できるよう認可されています。その結果、高い試験合格率を誇り、平成19年度末現在、11年間で133名のコース修了者が細胞検査士試験に合格しています。

平成19年度には抜本的改革をおこない、新・細胞検査士コースとして装いも新たに再スタートしました。がんの罹患率・死亡率が増加している近年、細胞検査士の需要はますます増えることが予想されます。従来の形態学に加え、最新の知見・技術を習得させて、次世代のリーダーとなり得る細胞検査士育成を目標に日々の教育をおこなっています。



2年生の微生物検査学実習

国際交流

トーマスジェファソン大学との学術交流の現況



理学療法学専攻 講師 坂本 美喜

医療衛生学部では、国際的な視野と高い専門知識を持った国際社会に通用する人材を養成することを目的とし、米国フィラデルフィアにあるトーマスジェファソン大学 (TJU) との国際交流 (教育交流活動) を行っています。

現在、医療検査学科 (ML)、作業療法学科 (OT)、理学療法学科 (PT)、診療放射線技術科学専攻 (RT) の1学科3専攻において交流がすすめられており、年に1度 (ML: 3週間、OT、PT、RT: 1週間、隔年)、両大学の学生がそれぞれの大学を訪問し、大学や医療機関の見学や、講



A3号館5階で記念撮影

義・実習等に参加しています。今回は、OT、PT、RT専攻の活動を中心に紹介いたします。

本年度は、TJUのRadiological Sciences (RS) の教員1名およびOT、PT、RSの学生各2名計6名の学生が、3月3日〜8日の日程で来日されました。1週間という短い期間でしたが、学部内の学科・専攻見学、病院・関連施設の見学、模擬講義、ランチョンセミナーなど、多くのプログラムを実施いたしました。模擬講義においては、本学学生も各専攻より多数参加しTJU学生と交流を深めました。ランチョンセミナーでは各専攻の学生が、各専攻の教育内容や学生生活を紹介しました。英語でのプレゼンテーションは、本学学生にとってよい経験になったことと思います。

また今回、TJUのDr. Toth-Cohen、日本に滞在していたTJU学生・本学教員間でインターネットを利用したWeb会議を行いました。今後は、年間を通じて交流すること、また出来るだけ多くの学生さんが直接TJU学生・教員と関わることを目指しています。今回のようにWebを活用した会議を行えたことは、今後のTJUとの交流に関して大きく前進したものと思っています。

泊宿
研修

学生気質をふまえて教育方法を考える



第11回教員教育研修会 実行委員長 佐治 眞理

教員教育研修会が12月1日・2日にセミナーハウス湘南台を会場に1泊2日の合宿形式で開催されました。参加者は教員39名と事務7名に学部外から4名の講師を迎え総勢50名でした。研修会のテーマを選定するに当たって、若手の実行委員から期せずして4つもの新しい教育方法の模索に関わるテーマが提案され、それらを4つのセッションとしてまとめる形で、主テーマ「学生気質をふまえて教育方法を考える」と副テーマ「知識を教える」から「学び方をコーチする」「へのパラダイムシフトの具体化を探る」が決まりました。

4つのセッション (①現代の学生気質について②学生にとってのキャリアデザイン③模擬講義④テュートリアル教育) は、それぞれが大きなテーマを掲げており3時間という各セッションの持ち時間内で発題、ワークシopp、討論という盛りだくさんな内容をこなし切れず中途半端に終わるのではと危惧されたのですが、改善の余地は残るものの非常に満足できるものでした。セッション担当の実行委員の方々の絞った企画と準備の努力が、講師の協力と参加者の共感を勝ち得たのではないのでしょうか。合宿形式での研修会開催のデメリットは1回の研修会

に教員40名参加が限度であることですが、主テーマのもとに3回シリーズで研修会を開催することで学部全教員120名が3年間のうちのどこかで参加できることになりました。

今回合宿形式で研修会を実施してみて意外なメリットがありました。それは、これまでなかなか実現しなかった「事務の方々が研修会プログラムとともに参加する (親睦会だけでなく) 」が一部実現したことです。20年度シリーズ2回目もどうぞよろしく。

私の模擬講義

講師 緒形 雅則

私は、模擬講義では通常の講義を再現しようと考えていました。しかし、講義は受講者人数、教室の広さ、黒板の大きさ、講義時間等様々な要因で組み立てが変わります。大学の黒板より小さい白板と通常の半分の講義時間は、板書量や書くタイミング、そして講義全体のメリハリ等、通常講義からの変更点もありました。今回の講義に関して多くの先生方より貴重な助言を頂いたことは、今後の私の教員活動にとっても有用であり、そして何よりこの成果として、私の講義が学生にとってより良いものになるよう努力したいと思っています。

掲示板

■医療衛生学部2つの研究施設をご紹介します。施設の紹介と、使用するにあたっての注意事項を両管理室長にお寄せいただいた。

動物実験施設

本学部附置研究所の一部門の共同研究施設として「動物実験施設」があります。本施設は主に小動物の飼育施設で、研究及び学生の教育施設です。

本学部で動物実験等を計画している場合は、必ず「施設利用登録申請書」を提出し、動物実験委員

会の承認を得ると共に、年度始めに開催される「利用者講習会」の受講が義務です。

利用許可を受けた後には施設内管理室に身分証明書を持参してカードキーを登録し、入退室に利用します。

動物愛護の精神を持ち慈悲の心で大いに実験をして、尊い動物の死を無駄にしないよう成果を上げて下さい。不明な点は管理室（内線9407）まで。

（動物管理室長 滝 龍雄）

R-1実験施設

R-1施設は、放射線障害防止法（文部科学省）により許可されている施設で、研究用と学生実習用があります。放射性同位元素（ α ）を研究に利用するためのR-1施設

定年退職にあたって

齋藤 豊和

昭和46年7月の北里大学病院開院にあわせるように、その1ヶ月前に後期病棟医として勤務することになり東京から相模原のこの地に移動し、2年間のコロンビア大学での留学期間を除き、今日まで北里大学にお世話になりここに終

止符を打つことになりました。臨床医としては一番長く勤務し、お世話になったことになりました。7年前に医学部から医療衛生学部に移りました。東病院で神経難病人工呼吸器管理等多くの α -メディカルの人たちとのチーム医療を立ち上げ、医療の原点を知ることにもなり、 α -メディカル養成に多少でもお手伝いできたらと思ったのもその動機のひとつでした。

4年前に学部長に推挙され、この4年まさに忙しさに身を置くことになり、定年、退職等の感慨にも浸る余裕のないままお別れす



◀学部長の居室ドアに貼ってあるイラスト

ることになります。学部長としてのスタート時に厳しい洗礼を受けましたが、逆に身を引き締めることにもなり、大変あり難いことだったと思っております。学部長として一貫して取るべきスタンスは、多くの学科、専攻を抱える当学部においてそれぞれの事情をよく理解し、すべて公正におこなうことでした。できるだけ情報を共有することとしました。学園のこ

とも、相模原のキャンパス内のことともより多く知っていただくことが必要と考えました。教職員の多大な御協力により非力な私を援助していただき本当に感謝しております。少子化や受験生の減少、学力の低下、競合校の乱立などで学部が取り組むべき問題は山積しております。新しい学部長による斬新な発想のもとでの諸問題の解決を切に望んでおります。

ないので注意して下さい。

（放射線管理室長 小川幸次）

研究倫理審査 始まる

研究倫理審査委員会

委員長 小林 弘祐

医療衛生学部に、新たに「研究倫理審査委員会」が発足しました。

これまで、医学部・病院に関連する研究や新たな治療行為については医学部・病院の倫理委員会ですら審査されていましたが、それ以外の医療衛生学部独自のヒトを対象とする研究を審査すべき研究倫理審査委員会はありませんでした。

しかし、教員の研究はもちろんのこと、学生同士を被検者とする学生研究であっても、同じ倫理的な姿勢が必要であるという観点から、医療衛生学部の研究倫理審査

委員会の審査対象は「医療衛生学部の教員あるいは教員の指導のもとで学生によって行われるヒトを対象にする研究（人を直接対象とするか、又は人体より採取した材料あるいは情報を使用する研究）」という事になりました。

新たに発足した研究倫理審査には予備審査制度を設立し、本審査の前に内容を整えておくことにより、完成度を増し、審査結果が出るまでの時間短縮を図りました。また、不服審査を独立した委員会が行えるようにして、研究倫理審査委員会が独善的にならないような仕組みを加えました。どしどし、審査案件をご提出ください。窓口は総務係で、ホームページも準備中です。ご利用ください。

研究最前線

がんプロ養成プラン

診療放射線技術科学専攻 教授 丸山 浩一



次世代の放射線

大学院医療系研究科では、今後のがん医療を担う医療人の養成推進を図る目的で「平成19年度がんプロフェッショナル養成プラン」(文部科学省の大学改革支援事業)に、慶應義塾大学、聖マリアンナ医科大学、東海大学、山梨大学、首都大学東京、聖路加看護大学、共立薬科大学の7大学とコンソーシアムを結成してその主管校となり、「南関東圏における先端のがん専門家の育成」患者中心のチーム医療を牽引する人材養成の拠点づくり」として申請をし、選定されました。

平成20年度入試では、博士課程

の「集学的がん治療スペシャリスト養成コース・臨床腫瘍(薬物治療)・放射線治療・緩和医療」および修士課程の「がん専門診療放射線技師コース」として学生を募集しました。本学部に関わるのは、「がん専門診療放射線技師コース」

です。このコースでは、 α の教員と医学部・病院・連携大学院の指導者達と共に、日本の医療現場で今後必要とされる医学物理士や放射線治療品質管理士の養成を目指します。

これまで、放射線治療は日本ではあまり好かれていませんでしたが、最近治療で選択する患者さんの数が増加しています。臓器の切除を避けることや機能を温存できること等の放射線治療の特徴があるので、これからの高齢化社会で需要が伸びると予測されます。平成20年4月からこのコースに在籍する院生は5名(2名は編入)です。そのうち3名の学生とコースの科目担当の教員の写真をご覧下さい。次世代の放射線がん治療を担って活躍してくれそうな雰囲気がお分かりになりますか。最先端のがん治療技術や画像診断技術の知識を学び、 α として病院での臨床実習をこなし、夏には1週間の合宿で連携大学院の院生・教員とチーム医療MSに参加する等、意欲的で盛りだくさんのカリキュラムです。学位論文のための研究も臨床を中心に高いレベルを要求します。大変ではあってもやりがいのある「がんプロ養成コース」です。学部学生の皆さん、どんな後に続いて下さい。

若手研究者

人工関節の沈み込み

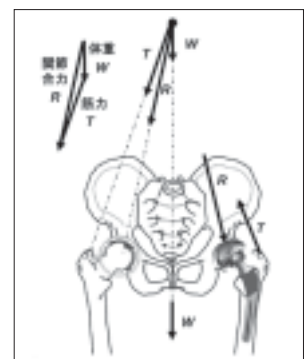
臨床工学専攻 助教 酒井 利奈



人工関節全置換術は関節形成術の一種であり最も根治的な関節疾患の治療法である。人工関節が1950年代に市販されて以来、使用数は増加の一途をたどってきた。特にここ数年の増加傾向は著しく人工関節使用数の増加に伴い、置換術後の合併症が臨床上深刻な問題となっている。なかでもステムが髓腔内に沈み込むシンキングは発生頻度が高いことから、沈み込みを防ぐことのできる人工股関節固定法の開発が求められている。同時に固定の優劣を評価する方法の確立が国内外において急務とされている。しかし新規開発された人工関節について定量的に評価をするための具体的な指針はこれまでに示されていない。

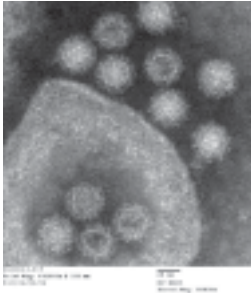
沈み込みの起こる要因は複雑で多岐にわたるが直接的な原因は身体運動に伴って関節に加わる外力である(図)。人工関節置換術後の短期間は骨組織の再生促進による生物学的固定が期待できないため力学的に強固な初期固定が不可欠となる。強固な初期固定を得るためには人工関節を設置する際、関節に加えらる外力を支える適切な固定能力が必要となる。そこで本研究においては、沈み込みの予防を目的とし、人工関節の固定法の判断基準として変位量を用い、

図 人工股関節に加えらる外力



固定法の良否を判定している。術後早期の固定を獲得するためには、変位量が低値を示すステムデザインが初期固定性に寄与すると考えられる。

本研究は沈み込みの予防という観点からデザインの改良点を指摘する点において実用的であり臨床上の価値も高い。本手法が評価法として適用されれば人工関節置換術のみならず埋め込み型整形外科インプラントの革新につながる。それは今後の臨床成績に深い相関を持つ。固定法の良否を判定する基準を構築できれば、個別の製品における事前評価が可能となり、優れた新規材料および次世代型新医療用具を生み出すことが予想できる。それは医薬品メーカーに対する合理的な試験方法を定めるガイドラインとして機能し、社会的には優れた医療用具の市場化が可能となり国民のQOLが向上するはずである。



ノロウイルス粒子 (80000X)

普通食中毒と言えば、食品の鮮度が落ちたものや時間がたったものが原因になることが多いのですが、ノロウイルスに限っては、新鮮なカキほど危ないのです。今やノロウイルスは食中毒から、人から人への感染が主流になりつつあ

食中毒③

感染源は トイレのドアノブ？

微生物学 原 和矢

過去25年間で最大の流行とも言われるノロウイルス感染症。事件数では499件(34%)でカンピロバクターにつぐ第2位。患者数は2万7千人(71%)で第1位。

そして手から手、調理物へ移行し接触経口感染してしまうのです。絨毯の嘔吐物中のウイルスが空気中に拡散した空気感染の例もあります。トイレから出る前に石鹸を使って手首からツメの間まで、入念に流すようにしましょう。

大学院での 出合いが財産

川守田拓志

私は、3月に大学院医療系研究科眼科学を修了致しました。学位論文は、老視矯正を目的とした眼内レンズの光学特性の調査でした。

一般教育部

教授 中村 和生

学習支援室

しいということもあるかもしれませんが。そんなときの強い味方が学

習支援室です。教養図書館の3階に行くと、英語、数学、物理、化学、生物のチューター(高校で教鞭を執っていたベテラン)が一对一で質問に答えてくれます。勉強法の相談にも乗ります。もし質問が大学で学ぶ内容ならば、それを理解するために高校レベルの基礎を解説した上で、大学の教員に質

問するようにアドバイスしてくれるでしょう。昨年度は全学で延べ1400人が利用しました。医療衛生学部皆さん、この施設を活用して基礎を固めてください。定期試験直前になってあわてないためにも。(詳しくはキャンパスガイド、パンフレット、ポスターなどをご覧ください。)

貴重な時間とお金を、学ぶために投資するわけですから、よく考えて入学することが院生活を充実させる秘訣であると思います。

4月から医療衛生学部視覚機能



伊 与 亨

国際関係とは、握手しながら蹴飛ばし合うようなものである。東アジアの「中華」とは文明の中心の意味で対等な関係は存在しない。儒教の本質は徳のある人が馬鹿な庶民を指導すること、言論の自由はなく民主主義が根付くはずもない。また、欧米の本質は強国が弱国を滅ぼす覇権主義である。アステカ文明

リレーコラム

の財宝を略奪したスペインの富を、英国は海賊行為で奪って産業革命を起こしたことが良い事例である。明治時代、福沢諭吉は中華・儒教思想に染まる隣国からの絶縁を「脱亜入欧論」で説き、西郷隆盛は、未開な人々を牛馬として扱う西洋は野蛮であると本質を突いた。これは現代でも変わらぬ外交の基本概念であろう。英国の元首相チャーチルが述べたように「他国は全て仮想敵国。だから友好は大事」という国際感覚涵養のためには「国際派日本人養成講座」というサイトをお薦めしたい。



オール北里チーム医療演習

チーム医療教育プログラムは、法人統合に伴い、平成20年度から埼玉県北本市にある看護専門学校を加え「オール北里チーム医療演習」として5月1日と2日に実施されることになった。今年は医療衛生学部のほか薬学部、医学部、看護学部、保健衛生専門学院、看護専門学校の学生、あわせて1,239人を対象に相模原キャンパスで開催。120のチームに分かれ、9つのテーマについてチームディスカッションを中心とした演習を行った。写真は、2日目の事前説明を熱心に聞く120人のファシリテータ。

レポーター

箱根駅伝にかけた青春

臨床工学専攻4年 持永 悠
(陸上競技部)

前年度、北里大学陸上競技部では箱根駅伝につながる箱根駅伝予選会に初出場を果たし39位という結果でした。予選会は標準記録(5千メートルを17分)という一定の記録を突破した者10名以上を集めてやっ

と出られるという大会です。数年前から長距離部員も徐々に増え日々みんなで一緒に辛い練習にも耐えてきました。今回の予選会で長距離部員全員が出場できたわけでは無いのですが、長距離

チームとしての目標を達することになりました。これは短距離やマナー、全キャンパスの部員みんなで協力しあい達成できたことだと思います。

陸上競技部は予選会や全日本医歯薬獣医などの大会で十和田、三陸の方の部員みんなで参加できる大会もあり、和気藹々と部活動をしています。大会の結果に対して今後也非常に期待でき、勢いのある部活だと思います。



是非一度第2グラウンドまで足を運んで見て下さい。

立川の昭和記念公園で行われた予選会にのぞんだ北里大学チーム

AHSニュース始め

前編集長 浜崎 道子

学部内の情報を学生、教職員、本学部志願者へ伝える媒体として2006年5月に創刊した本誌は、チーム医療教育、カリキュラム改定等の記事と同時に、学科専攻特集、研究最前線、若手研究者学生実習体験記等の、シリーズを組んで情報の発信に努めてきました。当初2000部を予定していた発行部数は現在6000部となり、昨年から学部ホームページ上で閲覧できるようになりました。



創刊号はモノクロでした。

学生に4号まで掲載された「これがおすすめ」に何を期待するかを聞いたところ、安くて美味しいお店という返事がかえって来ました。その期待に応えなかったのは、お店情報は他で得られますし、大学にとって学生がユーザーであっても、大学は学生が好きなものや欲しいものだけを提供する所では

なく、今は難解でつまらないと感じても、将来プラスになる事を伝えたいと思ったからです。

創刊号、2号には、ちらほらと頂いていた感想が4号では聞かれなかったもので、新鮮味を失わない内容への転換期になったと感じました。

新編集長の元で発行されます本誌に読者の皆様の更なるご支援を賜りますようお願い申し上げます。最後に、これまでご執筆下さいました皆様とアイデア溢れる編集委員の方々のサポートに感謝申し上げます。

編集後記

▽皆さんこんにちは。リハビリテーション学科視覚機能療法学専攻の石川です。この4月に編集長を拝命いたしました。一読者から突然のことで非常に戸惑っております。左側に編集長と偉そうに記載されておりますが実のところ今回の私の仕事は第5号の初校、2校の確認とこの編集後記です。▽さて冒頭に寄稿していただいた、平塚千尋氏の原稿を拝読し強く心を打たれ人間の命の尊さを思わずにはいられません。我々医療に従事するものはただただ漫然と医療に向き合うのではなく、一人間として誠意を持って日々の仕事に向き合うべきだと改めて考えさせられました。そして教員として学生に心の教育を行っていく責任もあると痛感いたしました。▽新編集長になり内容が貧困になったと評判を落とさぬよう精進いたしますので皆様、よろしくご指導のほどお願い申し上げます。

編集委員会

委員長 石川 均
委員 謙一 鈴木 和矢
大場 利奈 野田 恵子
酒井 恒夫 井上富美子
大庭